

# 原爆が遺した子ら

きのこ会写真展

Children

Left Behind by  
the Atomic Bomb:

80 Years of Silenced Voices

会場：

旧日本銀行広島支店 広島市中区袋町5-21

日時：

2025年10月4日(土) — 13日(月・祝)

10:00 — 17:00 (最終日のみ15:00まで)

主催：きのこ会、原爆小頭症写真展実行委員会 後援：広島市

入場無料

原爆小頭症・  
声なき被爆者の  
80年





撮影：重田雅彦

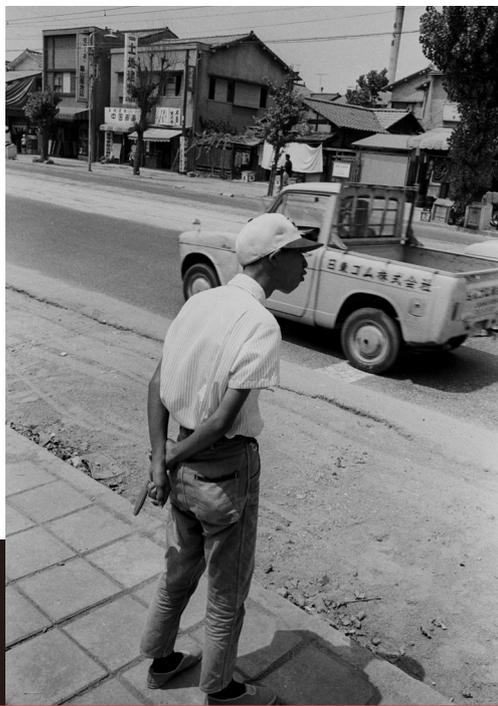
米軍が広島・長崎に投下した原子爆弾は、胎児にも容赦なく放射線を浴びせました。母親の妊娠早期に近距離で胎内被爆した子の中に、頭が小さく先天性の知的障がいや身体障がいが見られるケースがありました。それが、原爆小頭症です。

最も若い被爆者と呼ばれた小頭症被爆者と家族が1965年に設立したのが「きのこ会」です。あれから60年、親たちはみな鬼籍に入り、多くの小頭症被爆者もこの世を去りました。2025年3月末現在、原爆小頭症と認定を受けている人は全国に11人しかいません。

この写真展では、きのこ会設立後の記録写真を数多く撮影した写真家重田雅彦、菅沼清美両氏の協力を得て、原爆小頭症の当事者とその家族に焦点をあてました。中にはいまでも原爆や小頭症について触れたくないという家族もありますが、それもまた80年後の広島・長崎の姿です。その背景に何があるかを知ること、私たちの責務だと考えます。

すべては、核兵器がもたらす現実なのです。

撮影：菅沼清美



## ギャラリートーク

※事情により、登壇者が変わることがあります

10月4日(土) ——— ● 11:00~12:00

### 原爆小頭症ときのこ会を語る

斉藤とも子(俳優)／太田昌克(共同通信編集委員)／平尾直政(きのこ会事務局長)

● 13:00~14:00

### きのこ会を撮影したカメラマンたち

重田雅彦／菅沼清美

10月5日(日) ——— ● 13:30~15:00

### きのこ会の家族の思い

斉藤とも子／田中博子(毎日新聞記者)／平尾直政

10月11日(土) ——— ● 13:30~15:00

### ジャーナリストと原爆小頭症

太田昌克(共同通信)  
宮崎園子(フリーランス〈元朝日新聞〉記者)  
大牟田 聡(故・大牟田 稔氏〈中国新聞記者〉次男)  
平尾直政(元中国放送映像記者)

10月12日(日) ——— ● 13:30~15:00

### きのこ会と私たち

中井新一(原爆小頭症被爆者)／  
中井葉子(新一さんの妹)／宮崎園子／  
智(シンガーソングライター)

10月13日(月・祝) — ● 11:00~12:00

### きのこ会写真展を語る

## 原爆小頭症関連コンテンツ 上映

映像提供：中国放送

10月4日(土)

▶ 15:00~16:00 『原爆が遺した子ら 胎内被爆小頭児をささえて』  
(2017年、中国放送)

10月5日(日)

▶ 11:00~12:00 『おーい、聴こえますか? 被爆75年・ヒロシマから』  
(2020年、中国放送)

▶ 15:30~16:30 『小さな島の片隅で 原爆小頭症信子』  
(2002年、中国放送)

10月11日(土)

▶ 11:00~12:00 『原爆が遺した子ら 胎内被爆小頭児をささえて』  
(2017年、中国放送)

▶ 15:30~16:30 『原爆が遺した子ら 胎内被爆小頭児をささえて』  
(2017年、中国放送)

10月12日(日)

▶ 11:00~12:00 『おーい、聴こえますか? 被爆75年・ヒロシマから』  
(2020年、中国放送)

▶ 15:30~16:30 『小さな島の片隅で 原爆小頭症信子』  
(2002年、中国放送)

10月13日(月・祝)

▶ 13:00~14:00 『おーい、聴こえますか? 被爆75年・ヒロシマから』  
(2020年、中国放送)

【全期間(ループ再生)】

『わたしたちの声を聴いてください』日本語版・英語版(2022年、きのこ会)

問い合わせ先：きのこ会事務局 kinokokai@outlook.jp

<http://kinokokai.com/>

